

CASBEE®-建築(新築) | 評価結果 |

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社いなさ 新工場	階数	地上1F
建設地	静岡県浜松市西区馬郡町959-43の 6地域	構造	S造
用途地域	地域指定なし	平均居住人員	25 人
地図区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年10月15日
敷地面積	5,090 m ²	作成者	片山友見
建築面積	2,488 m ²	確認日	
延床面積	2,488 m ²	確認者	
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	
BEE = 0.7 ★★☆☆☆	★★☆☆☆	30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆ 100%超: ☆	Q2 サービス性能
S: ★★★★★ A: ★★★★ B+: ★★★ B: ★★ C: ★	3.0 1.5 BEE=1.0	標準計算	Q3 室外環境(敷地内)
100 G 総合評価 環境負荷 L	0 50 100	①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+	Q1 室内環境 LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境
このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO ₂ 排出量の目安で示したもの	0 46 92 (kg-CO ₂ /年·m ²)	100% 76% 76% 76%	Q3 のスコア = 2.2
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)		2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質		Q のスコア = 2.2	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)	Q3 のスコア = 1.5
Q1のスコア = 2.6	Q2のスコア = 2.7	Q3のスコア = 1.5	LR のスコア = 3.3
音環境 温熱環境 光・視環境 空気質環境	機能性 耐用性 対応性	生物環境 まちなみ 地域性・	LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境
2.8 2.6 3.0 2.4	2.2 2.5 3.4	1.0 2.0 1.5	LR1 のスコア = 4.0 LR2 のスコア = 2.9 LR3 のスコア = 2.9
LR 環境負荷低減性	LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR のスコア = 3.3	LR1のスコア = 4.0	LR2のスコア = 2.9	LR3のスコア = 2.9
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	その他
建物外皮の 自然エネ 設備シス 効率的	水資源 非再生材料の 汚染物質	地球温暖化 地域環境 周辺環境	0
5.0 3.0 4.7 2.0	3.4 2.7 3.0	3.9 2.9 2.1	
3 設計上の配慮事項			
総合	Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
敷地内は、敷地境界からの建物までの離隔距離を十分に確保し、周囲には緑地帯も設け、周辺環境に配慮した。 建物内は、工事エリアと事務エリアを明確に区画し、作業性、効率性、室内環境の向上に配慮した。	Q1 室内環境 工場と事務所部分は区画し、遮音性能を高めている。 開口部はT-2以上の遮音性能とし、事務所(居室)部分は、外壁天井共に断熱材を充填し室温環境に考慮している。	Q2 サービス性能 事務所部分は、執務スペース6m ² /人を確保し使いやすく、床はOAフロアとし、設備面からも利便性を確保している。	Q3 室外環境(敷地内) 敷地周りには植栽帯を確保し、隣地からの離隔距離を確保している。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境	その他
室外機は、出来るだけまとめた位置に設置し、排熱に考慮した向きとした。省エネルギー(モデル建物法)で評価クリアしている。	建築資材として、再生砕石を利用し考慮した。	緑地の確保、駐車場の確保、その他法令条例に準じた設備としている。	0

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要

建物名称	株式会社いなさ 新工場	BEE	0.7	BEEランク	B-	★★
------	-------------	-----	-----	--------	----	----

2. 重点項目への取組み度

重点項目	得点*/満点	取組み度	評価
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.8	/5	ふつう
"災害に強いしづおか"の形成 (Disaster)	2.1	/5	がんばろう
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	1.9	/5	がんばろう
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.4	/5	がんばろう
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)	評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上
			がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。	内訳対応項目	
	得点	3.8
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)		
■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ⑦BPIm=0.58 ⑨BEIm=0.63 ⑩LED照明の採用	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④	外皮性能 昼光利用設備 昼光制御 躯体材料の耐用年数 外壁仕上げ材の補修必要間隔 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 空調換気ダクトの更新必要間隔 空調・給排水配管の更新必要間隔 主要設備機器の更新必要間隔
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上)	Q-3 1 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上
■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率の運用) ⑦BPIm=0.58 ⑨BEIm=0.63 ⑩LED照明の採用	LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2	⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制
■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水型の衛生機器を使用	LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 2 2.1 2.1.1 2.1.2 2.1.3 2.1.4 2.1.5 2.1.6 3 3.1 3.1 3.2 3.2.1 3.2.2 3.2.3	⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 離排水等利用システム導入の有無 ⑪ 離体材料におけるリサイクル材の使用 ⑪ 離体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑪ 持続可能な森林から産出された木材 ⑪ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑪ 有害物質を含まない材料の使用 ⑪ 消火剤 ⑪ 断熱材 ⑪ 冷媒
■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) ⑭ライフケルCO2排出率が一般的 ⑮駐車場のスペース、配置に配慮	LR-3 1 2 2.2	⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善
"災害に強いしづおか"の形成(Disaster)		
■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) ⑯建築基準法に定められた耐震性を有する	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑯ 2.4.2 ⑯ 2.4.3 ⑯ 2.4.4 ⑯ 2.4.5 ⑯	耐震性 免震・制振性能 空調・換気設備 給排水・衛生設備 電気設備 機械・配管支持方法 通信・情報設備
"しづおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)		
■サービス性能対策 (⑯機能性・使いやすさ/⑰心理性・快適性/⑲空間のゆとり) ⑯階高3.75m以上 ⑯壁長さ比率0.1以下	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑯⑯ 3 3.1 3.1.1 ⑯ 3.1.2 ⑯	ユニバーサルデザイン計画 階高のゆとり 空間の形状・自由さ
■室外環境(敷地内)対策 (⑲地域性・アメニティへの配慮)	Q-3 3 3.1	⑲ 地域性への配慮、快適性の向上
"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)		
■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑯まちなみ・景観への配慮/⑯敷地内温熱環境の向上) ⑥敷地周りには植栽帯を確保	Q-3 1 2 3 3.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑯ まちなみ景観への配慮 ⑯ 敷地内温熱環境の向上
■敷地外環境対策 (⑮温熱環境悪化の改善)	LR-3 2 2.2	⑮ 温熱環境悪化の改善